

情報交換会 全体まとめ

- 1 参加者 病院 76 名、
介護施設 123 名、地域活動 4 名
区役所 6 名（オブザーバー）
- 2 内容 病院・介護施設の管理栄養士に「聞きたいこと」を書き出し(表1. 2のとおり)、その後情報交換会を行った。項目については、一人当たり何項目でも書き出してよいとされていたが、総数は病院:220項目、介護施設:270 項目であった。

病院から多く挙げたのは、情報提供のテーマでもある「施設間情報共有」「栄養情報連携書」「栄養情報連携料」等、施設間を対象者が行き来する際に算定が可能な加算に関することであった。「介護施設に聞きたいこと」は「どのような情報が役に立つか」等、「病院に聞きたいこと」は、加算の算定や情報提供の有無と書類作成のながれ等の項目が多かった。

また、令和6年度から栄養管理体制の基準が明確化され、低栄養の診断に GLIM 基準を用いることが望ましいとされた。これに伴い GLIM 基準の導入や運用についての項目も「病院に聞きたいこと」の項目として多く挙げた。

介護施設から多く挙げたのは、「施設間情報共有」「栄養情報連携料」であった。介護施設と病院の食事形態の相違について「共有できるか？」等の項目も多く、また病院の管理栄養士に情報提供する際、どのような情報が役に立つか、また電話で情報提供する際の都合の良い時間帯や、「電話をかけても迷惑でないか？」等の項目が多かった。

介護施設の管理栄養士は一人配置が多いため、「介護施設に聞きたいこと」として、その他の加算の算定のこと、施設内での他職種連携のこと、栄養ケアマネジメントのこと、個別対応のこと等広く情報を求めている姿がうかがえた。

また、災害時の対応で備蓄食品の内容や量、感染症時隔離された方への対応等も多かった。

当日の記録では、それぞれの「聞きたいこと」について、グループ内で回答や意見を導き出し共有できたと思われ、実施後アンケートの満足度も高かった。

表1 病院から 情報交換会で聞きたい項目

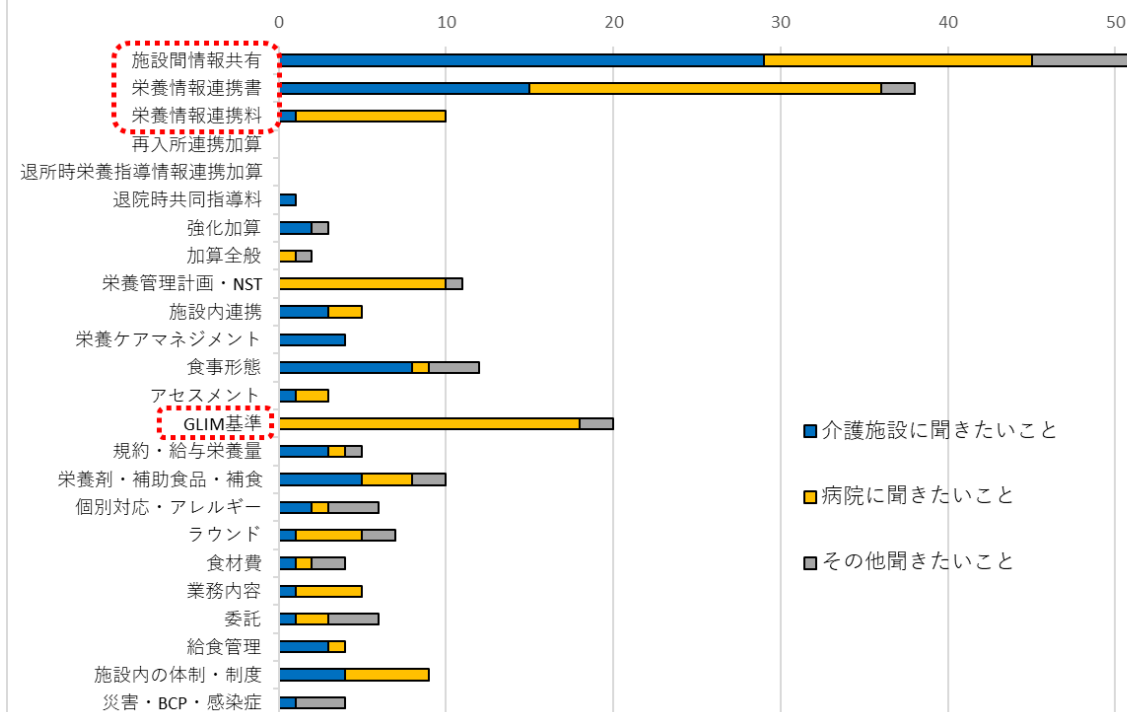


表2 介護施設から 情報交換会で聞きたい項目

